



Takinogawa Girls' School

瀧野川女子学園中学高等学校

生徒個々の好きなことや適性を明確にし、仲間と新たな価値を生む「創造性教育」

2016年より本格的に始動した「創造性教育」が高く評価され、「キャリア教育優良学校」として文部科学大臣表彰を受けた瀧野川女子学園。副校長の山口龍介先生に話を聞きました。

チームで「新しい価値」を生み出す「創造性教育」

山口龍介先生が2010年に副校長に就任して以来、学校改革が進む瀧野川女子学園。独自の「創造性教育」について語ってくれました。



高2の「事業化実習」では、集大成として「ハワイ大学チャリティバザー」も実施。売り上げを現地の教育基金に寄付し、国際貢献を行います。

「中高6年間をかけて生徒の専門性を培います。それが大学や学部選考、ひいては就職後におけるミスマッチを防ぐからです」

また、これからの世界で成功をめざすには、自分の好きなことや得意なことを突き詰めるのに加えて、それを他者と協働して具現化し、チームで「新しい価値」を生み出そうとする起業家精神が必要だと言います。「そうしたスキルを身につけさせるのが本校の創造性教育。総合的な探究の時間において、自分の仕事を創り、世界に貢献するためのプログラムに取り組みます」

理系への扉を開き起業家精神も培うプログラム

創造性教育には学年ごとにテーマ

があり、例えば、中1で「理想の街を創ろう」、高1で「商品企画コンペティション」を行います。中2の「大道芸ロボットを創ろう」では、1年間かけてチームでロボットづくりを手がけ、理系への興味・関心・適性への扉を開きます。高2の「事業化実習」では、1チーム約15人で模擬企業を設立。生徒はマネジメント、マーケティング、製造、会計のうちいずれかの役割を担い、新商品の開発、原価計算、商品の製作、宣伝などを行って文化祭に出店し、販売します。

「2日間の文化祭で22万円超を売り上げたチームも。さらに決算やIR報告書の作成、会社の解散まで行い、チームの中で自分の興味や強みを活かせる役割を見つけます。実

社会で求められる創造性と起業家精神を皆で育んでいきます」

創造性教育の成果もあり、大学合格者の9割以上が総合型選抜と学校推薦型選抜で進学を決定するようになったという同校。また過去5年間で、国公立大学では国際教養大学や筑波大学、東京外国語大学など、難関私立大学では上智大学や東京理科大学、明治大学などに合格者を出してきました。探究的な学びが重視される今、瀧野川女子学園の創造性教育から目が離せません。



瀧野川女子学園
中学高等学校
副校長

山口龍介先生

学校紹介

瀧野川女子学園中学高等学校

所在地：〒114-0016

東京都北区上中里1-27-7

連絡先：03-3910-6315

創立年：1926年

生徒数：中高合計386名(17クラス)

アクセス：JR京浜東北線「上中里」駅より徒歩2分／

東京メトロ南北線「西ヶ原」駅より徒歩8分／

JR山手線「駒込」駅より徒歩12分